2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

各診療科別に患者数の多いDPC14桁分類についてDPCコード、DPC名称、患者数、当院の
平均在院日数、全国平均在院日数、転院率、平均年齢、解説を示しております。

内科

DPCコード	名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎	47	20.55	20.84	0.38	82
110310xx99xxxx	尿路感染症	39	15.15	12.58	0.31	81
050130xx9900xx	心不全	24	14.96	17.71	0.17	87
180010x0xxx2xx	敗血症	-	-	33.26	-	-
01021xxxxx0xxx	認知症	-	-	17.53	-	-

内科では高齢の患者さんが多いことから誤嚥性肺炎、尿路感染症、心不全という高齢者特有の病気が
上位を占めています。
高齢の患者さんは病状回復後も自立した生活が困難で、転院、施設への入所が必要になるケースが多く、
退院調整に時間を要し入院期間が長くなる傾向にあります。
当院では関連する療養病院、介護老人保健施設を有しているので、家族の意向も踏まえてそちらへの転院
も積極的にすすめています。

外科

DPCコード	名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢
110310xx99xxxx	尿路感染症	14	17.14	12.58	0.14	86
01021xxxxx0xxx	認知症	11	6.18	17.53	0.09	86
080010xxxx0xxx	蜂窩織炎	-	-	12.55	-	-
060210xx99000x	腸閉塞	-	-	8.89	-	-
180010x0xxx2xx	敗血症	-	-	33.26	-	-

外科は一般外科（けが等を扱う）、消化器外科が主体ですが、当院関連施設、近隣老人施設からの高齢
患者さんを外科で担当することもあり内科と同様の病気が上位を占めます
上位にはあがりませんが尿管結石、大腸憩室炎、胆石胆のう炎の治療にもあたっており、患者
さんの状態によっては専門病院への転院も迅速かつ積極的に行っております。
蜂窩織炎とは皮膚と皮下脂肪に細菌が入り込む感染症で、足の皮膚に最も多く発症し赤く腫れて熱感や
痛みを伴う病気です。継続的な点滴治療を必要とします。
10件未満の数値については規定により「－」ハイフンでの表記となっています

整形外科

DPCコード	名称	患者数	平均在院日数（自院）	平均在院日数（全国）	転院率	平均年齢
071030xx99xx0x	急性腰痛症	19	16.37	9.65	0.26	77
160800xx01xxxx	大腿骨骨折（手術施行あり）	14	31.43	25.94	0.71	86
160690xx99xxxx	腰椎圧迫骨折	11	22.64	19.40	0.45	82
160580xxxxx0xx	臀部挫傷	-	-	8.50	-	-
160800xx99xxxx	大腿骨骨折（手術施行なし）	-	-	14.43	-	-

整形外科は救急搬送にて入院される患者さんが多数を占めています。
特に高齢化に伴い転倒による大腿骨頚部骨折等の患者さんが多く、年々増加の傾向にあります。
骨折の状態により人工骨頭挿入術、大腿骨骨折観血的手術（ガンマネイルなど）を実施、必要に応じて
他院への紹介も行っています。
骨折によるADL低下を最小限にするため、リハビリテーションは患者さんの状態に配慮し、受傷後早期か
ら積極的に実施し、回復期リハビリテーション、または療養病院への転院もすすめています。